



ENRICH NOT EXPLOIT™ (It's in our hands)

サステナビリティ グローバルレポート2018

※このレポートは、英国本社レポートの翻訳版になります。



CONTENTS

3

数字で見る2018年

4

はじめに

6

ENRICH OUR PEOPLE

15

ENRICH OUR PRODUCTS

24

ENRICH OUR PLANET

37

未来に向かって

38

ターゲットの詳細



数字で見る2018年

2,620万㎡

バイオブリッジスキームを通じて、
絶滅の危機に瀕している2,620万㎡に
及ぶ生物が多様な生息地を
保護しました。

830万人

Forever Against Animal Testing
(化粧品の実験動物廃止)キャンペーンの
一環として、830万人が署名した嘆願書を
国連に提出しました。

92万1,000ポンド

92万1,000ポンドを
世界中の保護慈善団体に
寄付しました。

6,065時間

スタッフがさまざまな目的のために
ボランティア活動に費やした時間は、
6,065時間に及びました。

14万3,856トン

ベトナムのケ・ヌオク・トロンの
森林の保護と回復により、
14万3,856トンのCO2を
削減しました。

1万6,314人

コミュニティトレード・スキームを通じて、
1万6,314人の労働者が、
コミュニティトレード製品の公正価格及び
倫理的慣行から恩恵を受けました。

224トン

ギフト商品の包装を減らすことにより、
224トンの板紙を節約しました。
また、86トンの金属と26トンの
プラスチックも節約しました。

100%

世界中の当社ウェブサイトの100%で、
製品カテゴリーの環境フットプリントに
関する情報が含まれています。

94%

天然成分の94%について、
その原産国を突き止めています。

56%

包装材の56%が
化石燃料不使用でした。

9%

2017年と比較して、
世界中の店舗でのエネルギー使用量が
9%削減されました。

2つ

World Retail Congress Responsible
Retailer of the Year及びMarie Claire
Prix D'Excellence De la Beauté Sus-
tainability Awardの2つの主要なサステナ
ビリティ賞を受賞しました。

1社

コミュニティトレードの新規サプライヤーを
1社、承認しました。
コミュニティトレードの新成分が1種、
加わりました。

はじめに

ザ・ボディショップを代表して、当社のサステナビリティ・プログラム「ENRICH NOT EXPLOIT™」の2018年版レビューをお届けできることを大変嬉しく思っています。

過去12カ月間、私たちはいくつかの特筆すべき成果を上げ、6大陸、69カ国、約3,000店舗においてスタッフとお客さまを動員してきました。

そのハイライトの一例として、2020年の目標を上回ったForever Against Animal Testingキャンペーンが挙げられますが、化粧品の動物実験禁止を求める830万人の署名を国連に提出するという喜ばしい結果に結実しました。バイオブリッジ・プログラムを通じて、2018年には2,620万平方メートルの絶滅の危機に瀕した生息地を保護し、Marie Claire Prix D'Excellence De la Beauté Sustainability Awardを受賞したことを私たちは誇りに思っています。こうした成果は当社だけでなく、地球と地球で暮らす人間および動物たちに対しても、世界的に有意義でポジティブな変化をもたらしています。

成果を認識することと同様に重要なのが、一部の分野では、プログラム開始時に設定した目標をすべて達成できたわけではないことを認めなければならないということです。

私たちは正しい方向に向かっていますが、今後はより一層の努力を積み重ね、当社のすべての部門が、世のためになる力としてのビジネスとして、アジェンダを積極的に推進していきたいと考えています。地球と社会が直面している課題を考えると、統合されたトリプルボトムラインの哲学が私たちが行うすべてのことに浸透することによってのみ、世界を変革する力としてビジネスを擁護することができると思っています。

このようなことを熟慮した結果、2018年にEnrich Not Exploit™コミットメントを終了し、その代わりに、抱負を新たにして、さらに意欲的で包括的な計画へとサステナビリティ活動を移行するようにリソースのすべてを集中させることに決定しました。

私たちは2021年のスタート時に、再生企業になること、つまり、自分たちが受け取るよりも多く世界に対して組織的に貢献するような企業になることを目指して、新しい戦略を打ち出します。

既にこの新しい計画の基盤づくりが始まっています。これにはブランドの目的を再定義することや、戦略開発プロセスを導く上で大きな力を発揮することが証明されているFuture-Fit(未来に即した)ビジネス・ベンチマークとのパートナーシップを継続することなどが含まれます。また、B Corp認証の取得を目指しており、この目標を達成して私たちが長い間評価してきた運動に参加するために必要なことは何でも行うように努力しています。

トリプルボトムライン・アプローチの一環として、株主に対する大きな経済的見返りとバランスのとれた強力な社会的及び環境的パフォーマンスを提供することに専心するために、英国会社登記所に提出してある当社の法的な定款を変更しました。これは大きな一歩であり、環境的、社会的及び経済的影響が私たちにとっても等しく重要であることを示しています。

私たちは、これまで成し遂げてきた成果を誇りに思うと同時に、将来についても期待で胸を躍らせています。この先の旅においても課題がないわけではありませんが、前へ進みながら、新しい考え方や行動の仕方を学び、それらを取り入れていくことになるでしょう。

世界によりポジティブな変化をもたらす道を模索しながら、今後も当社のストーリーを皆さまと共有していきたいと思っております。



David Boynton (デビッド・ポイントン)
最高経営責任者



ENRICH NOT EXPLOIT™

2016年、私たちは新しい地球規模のサステナビリティ・プログラム「Enrich Not Exploit™ Commitment」を開始しました。このプログラムのもと、私たちは自らの実践において、また他の人々に影響を与えることによって、ポジティブな変化を生み出すことに専心してきました。プログラムには、3つの中心的な柱の下に14のターゲットが組み込まれていました。

- 人々をより豊かにする(Enrich our People)
- 製品をより豊かにする(Enrich our Products)
- 地球をより豊かにする(Enrich our Planet)

このレポートでは、各ターゲットの完全な進捗状況と、今後、活動を推進していくためのステップについて概説しています。

以下のページに掲載されている表を見るときのポイント

赤色

比例配分された2020年ターゲットに対する進捗は未達成である。

黄褐色

比例配分された2020年ターゲットに対する進捗は未達成であるが、大幅な進捗が見られた。

緑色

比例配分された2020年ターゲットを達成した、または上回って達成した。



**ENRICH
OUR
PEOPLE**



ターゲット1:

コミュニティトレード・プログラムを27社から40社のサプライヤーに増やし、サプライヤー・コミュニティ¹が充実するように支援します。

これまでのストーリー

2016年から2018年にかけて、コミュニティトレードで取引されている成分について6つの新しい成分の調達を開始し、世界中を対象に14の新しいコミュニティトレード・サプライチェーンの可能性を調査しました。新規にコミュニティトレードの関係を結ぶたびに、当社の厳格な品質基準と倫理基準を満たすために、当社とサプライヤーは多大な時間と投資を必要とします。当社のコミュニティトレード・サプライヤーは、高品質の天然成分とアクセサリーに対して適正な賃金を受け取っています。そして、多くの場合、より広い地域社会に利益をもたらす健康プロジェクトまたは教育プロジェクトに対するサプライヤーの投資を支援するために、当社では割増賃金を支払っています。

1. このターゲットは2017年に向けて改正されています。当初のターゲットは、コミュニティトレード・プログラムを19種類から40種類の成分へ倍増し、これらを生産するコミュニティを豊かにする支援を行うことでした。

ターゲット1 – 2018年の進捗状況

2018年、私たちは新たに1社のコミュニティトレード・サプライヤー（ルワンダ産モリンガシードオイル）と契約し、コミュニティトレードの一覧がサプライヤー31社まで増加し、2018年の目標を上回りました。

当社のAsili Natural Oilsとのコミュニティトレード モリンガシードオイル・パートナーシップは、ルワンダの乾燥した東部地域の農家に持続可能な収入を提供することを目的としています。この地域は収入の機会が少なく、コミュニティは1994年の大虐殺からいまだに回復途中にあります。干ばつに強いモリンガは、農家に安定した収入をもたらし、その樹冠は食用作物を保護します。

当社のコミュニティトレード・プログラムの中心的な側面は、小規模サプライヤーの強化を支援することです（マンゴースードオイルのサプライヤーの支援については、10ページをご覧ください）。

2018年には、コミュニティトレード・プログラムと連携したコミュニティプロジェクトによって、例えばインドやガーナの診療所を通じて、世界中で10万人の人々が恩恵を受けました（10ページ参照）。

2018年のもう1つのハイライトは、完全にトレーサブルな方法で、インドからコミュニティトレードのリサイクルプラスチック包装材を調達するために、Plastics For Changeとのパートナーシップを確立したことです。この取り組みは、2019年5月に正式に開始されました（29ページのボックスを参照）。

未来に向かって

コミュニティトレードは、私たちが30年以上にわたって実施してきた重要なプログラムです。2019年以降は、コミュニティトレードのサプライヤーの数を増やすことに焦点を当てるのではなく、そのポジティブな影響を最大化することに焦点を当てていきます。今後、当社のビジネス全体で、コミュニティトレードに対するコミットメントが、より深く、より広範囲なものになっていき、私たちの取引が最も有益となるコミュニティにおいてポジティブな影響力を高めていくことでしょう。

コミュニティトレード・サプライヤー ²	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ³	ターゲット2020
	27	30	31*	27	40

2. 2017年に、このターゲットに関する報告を変更し、コミュニティトレードの成分の数からコミュニティトレードのサプライヤーの数に変更しました。透明性を確保するため、2016年には20種類、2017年には23種類、2018年には24種類のそうした成分を使用しました。

3. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

コミュニティトレードとは

コミュニティトレードは、当社が独自に検証したフェアトレードの調達プログラムで、美容業界では史上初で最大規模のものです。これによって、世界中のコミュニティから天然成分、ギフト、アクセサリを調達できるようになりました。

コミュニティトレードは、小規模サプライヤーに対し、良好な取引慣行、公正な価格、及び、社会の主流から取り残されたようなコミュニティへの投資を提供しており、その見返りとして、持続可能な調達方法と適正な労働基準の遵守をサプライヤーに求めています。

2018年末時点では、コミュニティトレードの成分24種に加え、23カ国31社のサプライヤーからコミュニティトレードのアクセサリやギフトを調達しています。



ターゲット2:

世界中で4万人の経済的に弱い立場の人々が雇用の機会を得られるように支援します。

これまでのストーリー

コミュニティトレード・プログラムは、経済的及び環境的に持続可能な生活と適正な労働条件を提供することにより、サプライヤーのコミュニティの労働者やその他の人々に利益をもたらしています。



ターゲット2 – 2018年の進捗状況

2018年は、世界中のコミュニティトレードのサプライチェーンで働く1万6,314人の労働者に直接利益をもたらしましたが、その多くは経済的に貧しい地域に拠点を置く労働者であり、2017年の実績を上回りました。

気象条件や製品ニーズの変化に伴い、必然的に、取引状況に変動を生じたことが一因です。2018年の増加には、モリンガシードオイル及びマンゴシードオイルの新たなサプライチェーン（後者は2017年に開始）が加わったことと、ナミビア産マルーラナッツオイルとガーナ産シアバターの調達を拡大したことが一部に反映されています。当社のサプライチェーンを通じて雇用の機会を得る人々の数は、この1年間を通して増加しており、ポジティブな傾向を示しています。

コミュニティトレードのマンゴシードオイルを、インド中央部の女性協同組合から調達してからわずか1年以内に、協同組合の会員数は200人から1,000人に増加しました。当社との取引により、女性たちの収穫物の価格は上がり、ビジネスの運営にもさらに関与するようになり、スキルを向上させています。女性たちは協力して注文管理、品質管理及び財務管理を行い、収穫物に対する適正な価格を組合員に支払っています。

未来に向かって

サプライチェーンを通じて労働者と地域社会に利益をもたらすことは、今後も引き続き当社のグローバル調達プログラムの重要な部分です。これまで、コミュニティトレードのサプライチェーンは1万6,000人超の労働者に直接的な利益をもたらしており、さらに多くの人々が間接的な利益を受けています。例えば、ザ・ボディショップとの取引を通じて資金提供される社会的影響力のあるプロジェクトでは、医療施設、教育、淡水インフラを提供していますが、間接的な利益を受けている人々の中には、これらを利用することができる人々がいます。Enrich Not Exploit™ コミットメントから得た主な学びは、私たちが世界に与えた影響を評価し、そのストーリーを伝える方法を継続的に改善していくことの重要性です。今後は、将来のターゲットと報告の指針となるよう、当社のサプライチェーンにおける社会的影響の定義、評価及び報告の方法を明確にしていきたいと考えています。

人数	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ⁴	ターゲット2020
	20,823	12,450	31*	24,000	40,000

4. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

ウイメンズ・ゴールド： コミュニティトレード・シア

当社のコミュニティトレード・シアのパートナーシップは、長期的なサプライヤーとの関係がもたらす多くのメリットを実証しています。1994年から、私たちはガーナのトゥンティヤ女性組合からコミュニティトレードのシアバターを調達しており、640人の女性のシア生産者が収入を得ています。シアは、特に女性の経済的機会がほとんどない地域では、その価値が高いことから、地元生産地では「ウイメンズ・ゴールド（女性の金）」として知られています。

当社の取引では公正な価格がつけられるため、シアの女性生産者が家族を養い、服を着せ、教育するのに役立っています。当社の取引では他の利点も提供しています。私たちは、女性たちが効果的に取引を管理できるように、ビジネストレーニングを受けることを支援してきました。これによって、女性たちは自分たちの権利のために立ち上がる自信を得て、家庭や地域社会において、そして他のシアバイヤーから、より良い待遇を受けられるようになるのです。

また、4万9,000人のコミュニティに利益をもたらすために、女性たちがプロジェクトに投資する資金も私たちは支払っています。これにより11の村において、地域の初等教育、ヘルスケア、水へのアクセス、及び衛生環境が改善されました。女性たちはこれまでに1万7,500本の苗木を植えており、どの村にも安全で薪の使用量が少なく済む燃料効率の良い新しいストーブがあります。

「ザ・ボディショップにシアバターを販売しているおかげで、私は7人の子供たちを健康に育てるために栄養の高い物を買うことができました。20年前、この村には何もありませんでした。現在では、保健センター、学校、シアバターを加工する場所など、私たちが必要とするものがあります。さらに言うと、私は幸せです。トゥンティヤで私たちは互いに助け合い、それぞれの知識を教え合っています。シアバターによって、私たち全員がつながっているのです」

トゥンティヤ女性組合のシア生産者、マダム・アフシエトゥ

ターゲット3:

800万人を私たちのEnrich Not Exploit™の活動に巻き込み、2020年までにザ・ボディショップ史上最大のキャンペーンを行います。

これまでのストーリー

ザ・ボディショップは、キャンペーンについては誇りにできる長い歴史があります。1989年、当社は動物実験に反対するキャンペーンを行った最初の化粧品会社となりました。私たちは動物実験で自社の成分や製品をテストすることは決してありません。

2017年には、NGOパートナーであるクルーエルティフリーインターナショナルと共に、これまでで最も野心的なキャンペーン、Forever Against Animal Testingを立ち上げました。

賞を獲得したこのキャンペーンでは、化粧品の動物実験を世界中で永久に禁止することを呼びかけました。驚くべきことに、動物実験は不必要であり、他の実験方法のほうがより迅速で効率的であるにもかかわらず、80%の国で化粧品の動物実験を禁止する法律が制定されていません。

「当社のスタッフに加えて、世界中で、通りを行き交い、私たちの店に立ち寄ってくれる何百万人もの支持者たちが、一つの大きな力となって、世の中の意識を高め、行動を促し、啓発を推進しているのです」

ボディショップ創業者、Dame Anita Roddick（アニータ・ロディック）の1991年の言葉

ターゲット3 – 2018年の進捗状況

2018年には、世界中の支持者によって、「Forever Against Animal Testing」の嘆願書に450万人の署名が追加されました。これにより、署名者の総数は830万人となり、2020年のターゲットを上回りました。こんなに多くのお客さまが嘆願書に署名してくださったこと、また、大勢のスタッフが仕事中和空き時間の両方において、この問題についてキャンペーンを展開してくれたことを非常に誇りに思っています。

10月の世界動物の日に、ザ・ボディショップとクルーエルティフリーインターナショナルは、ニューヨークの国連本部にこの記録的な署名数を集めた嘆願書を持参し、化粧品の動物実験を世界的に終わらせるよう要求してきました。法律を変えるのには時間がかかるにもかかわらず、オーストラリアとハワイはこの問題に関する法律を可決し、カナダでも進捗している状況です。2013年には、当社の影響で欧州連合(EU)がこの慣行を禁止したことから、私たちは最終的にこの戦いに勝つことを確信しています。

未来に向かって

私たちのキャンペーンは、嘆願書を手渡したらそれで終わりというものではありません。2019年も当社の影響力と経験を生かし、国連や国の意思決定者、その他の企業と協働しながら、あらゆる場所で永続的に化粧品の動物実験禁止を求め続けていきます。

嘆願書署名数	2016	2017	2018 (累計)
	該当なし (2017年 嘆願開始)	3,837,978	8,342,438



ターゲット 4:

地域コミュニティの生物多様性をより豊かにするために、2020年までに私たちの25万時間分のスキルとノウハウを投資します。

これまでのストーリー

現在、スタッフに対して年間最大3日間のボランティア活動費を支給しており、スタッフはその費用を使って任意の目的でボランティア活動を行うことができます。これは、コミュニティや草の根組織、そして世界を支援するための実践的な方法です。また、スタッフにとってもやりがいのある体験であり、一緒にボランティア活動を行うチームにとって絆を深める体験となります。

「私は、社会的に弱い立場にある女性たちを支援する英国の慈善団体、Growbabyでボランティアをしました。それは、あまり喜びを感じていない女性たちの生活に喜びをもたらす素晴らしい機会でした。私たちの背景や経験は異なりましたが、真の絆を築くことができました」

ナターシャ・カルダモノヴァ (Natasha Kardamanova)、英国のスタッフ



ターゲット 4 – 2018年の進捗状況

2018年は、世界中のスタッフが一丸となって、地域コミュニティを豊かにするために3万312時間のボランティア活動を行いました。ターゲットをわずかに下回りました。これは、組織の変革や会社の全レベルで仕事量が多かったことが原因の一つとなっており、一部のスタッフにとってはボランティア活動の優先順位が低かったということです。

しかし、2018年にこのスキームを通じてボランティア活動を行ったスタッフの功績も見逃すことはできません。世界中で、彼らは様々な分野にわたり価値ある奉仕活動を行いました。そうした活動の中には、高齢者の支援、フードバンクでの支援、難民組織の支援などが含まれています。さらに大勢のスタッフが、このターゲットとして記録されていない自分の時間をボランティア活動に充てて、Forever Against Animal Testingキャンペーンを支援し、大きな成功へ導く一助となりました。

未来に向かって

私たちは経験から学んだことを応用して、スタッフのボランティア活動をどのように構成してサポートしていけばよいのか再考しているところです。リーダーたちがスタッフのボランティア活動を理解し、積極的にサポートするようにしていくつもりです。また2019年からは、アニータウィーク「創業者のAnita Roddick（アニータ・ロディック）を記念して毎年開催されるイベント」期間中、1日間の有償ボランティア活動を全オフィススタッフに奨励します。

スタッフがボランティア活動に 費やした時間	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ⁵	ターゲット2020
	43,102	30,585*	30,312	150,000	250,000

*レポート作成時のエラーのため、累計7万5,521と不正確に記載されていた2017年レポートの数字を修正しました。

5. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

BE THE CHANGEを 通じて若年者の自信を 育みます

英国オフィスのスタッフは、学校で課題や困難に直面している可能性のある生徒を対象としたプログラム、Be the Changeを通じて、地域の児童を指導することにより、若年者の生活の向上に貢献してきました。このプログラムは、幸福、自信、人間関係、そして雇用の可能性を構築することに焦点を当てており、成功を阻む個人的障壁を克服する方法を見つける手助けをする前に、生徒みずからが自分の個人的障壁を見つけ出すことを奨励しています。

ビジネスガイドの一人であるケリー・マクネアは、次のように説明しています。

「私たちは、自分自身の成長の経験やキャリア・ジャーニーを話すことによって、生徒たちにも自分が直面している課題について話してもらうようにしています。私たちが指導している若者の多くが、学校や家庭で困難な状況に直面しています。プログラムの過程で彼らが自信を深め、自分の将来について前向きに考え始めるのを見るのは素晴らしいことです」

A large, leafy tree with a thick trunk and many branches, set against a background of a body of water and a distant shoreline. The tree is the central focus, with its green leaves and brown branches clearly visible. The water in the background is calm, reflecting the sky and the surrounding landscape. The overall scene is a natural, outdoor setting.

**ENRICH
OUR
PRODUCTS**

ターゲット 5:

天然成分の100%を確実にトレーサブルかつ持続可能な方法で調達することにより、1万ヘクタールの森林などの生息環境を保護します。

これまでのストーリー

当社の天然成分は、植物、微生物または鉱物由来のものです。これらの成分が持続可能なものであることを確認するための第一歩は、その原産国をトレースすることです。そして、2017年末までに、このターゲットに対して著しい進歩を遂げました。また、ステークホルダーとの協議で合意した「持続可能な」の厳密な定義に基づいて、サステナブルソーシング憲章を制定しました。サステナブルソーシング憲章では、持続可能な方法で成分を調達するためのザ・ボディショップのアプローチを定めており、ザ・ボディショップがサプライヤーとどのようにかわり、また、サプライヤーをどのように管理するかを規定しています。この憲章は、地球、人々および製品の3つの柱に基づいて構築されており、環境を保護し、成分を生産する人々を尊重し、製造される製品がザ・ボディショップの期待する品質であることを保証します。また、ザ・ボディショップのサプライヤーに対するコミットメントについても概要されており、この憲章のコミットメントの履行については、毎年、独立して検証されます。

ターゲット5 – 2018年の進捗状況

サステナブルソーシング憲章の導入は、私たちのこの分野の仕事に対する取り組み方に影響を与えてきました。最初に、「持続可能な調達」の定義を更新しましたが、古い基準に照らしてパフォーマンスを評価したいと考えていたのであれば、2018年にこの分野のパフォーマンスについて報告できるような立場に私たちはありません。しかし、新たな取り組みの一環として、仕事の範囲を拡大して、天然成分と天然由来成分の両方をカバーするようにし、良好な進展をみせています。天然成分については、86種の成分のうち、その94%の原産国をトレースし、さらに126種の天然由来成分については、その78%のトレーサビリティを達成しています。

未来に向かって

当初の2020年のターゲットを上回るために、全成分について100%のトレーサビリティと持続可能性を確保するという次のフェーズを、2019年及び2020年も引き続き優先的に取り組んでいきます。私たちは、天然成分だけでなく、すべての成分が社会的及び環境的に持続可能で、かつ倫理的に調達されたものであるよう努めていきます。進捗状況については、お客さまに最新情報をお知らせしていくつもりです。

	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018	ターゲット2020
トレーサブルな天然成分	59.7%	69.85%	94%	50%	100%
持続可能な方法で調達された天然成分	11.3%	9.92%	該当なし ⁶	50%	100%
保護されたヘクタール数*	8,000	8,000	8,000	7,500	10,000

*独自のレビュー前に、2016年及び2017年に採用された方法で算出。

6. 上記のサステナブルソーシング憲章を導入しているため、2018年はさらなる評価は行われていません。

比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

今年、ペルーでのブラジルナッツ調達プログラムに対する当社の影響をより深く理解するために、Fauna & Flora International (FFI) による独自のレビューを依頼しました。

このレビューは、将来、森林保全に対する当社のトレードの貢献をどのように強化したらよいのかについて、その指針を与えてくれました。レポートの次のステップの一環として、FFIは、ザ・ボディショップがサプライチェーンを通じて森林保護を主張するために、以下に挙げるような（最低でも）満たすべき3つの主要な基準を提示してくれました。

- ・森林所有者／借地人が調達から経済的利益を得ているかどうかを調査する。
- ・ザ・ボディショップとコレクターまたは森林所有者との間で、森林を保護し、絶滅危惧種の狩猟を控えることに対する理解とコミットメントを示す書面による合意書を作成する。
- ・植物のライフサイクルに関する科学的根拠に基づいた持続可能な収穫計画を立てる。

このレビューのタイミングに合わせて、本年度のレポートに対して、プログラム全体でこの学びを適用することはできませんでしたが、この指針は今後のパフォーマンスのレビューに使用されます。

ペルー産 ブラジルナッツオイルの コミュニティトレード

ペルーのコミュニティトレードプログラムは、マドレ・デ・ディオス・アマゾンの熱帯雨林の保護に貢献するブラジルナッツオイルを私たちに提供してくれています。当社のトレードは、森林を維持するための経済的インセンティブをコミュニティに提供し、他のイニシアチブと並んで有益な森林保護対策を実施しています。2017年と同様に、2018年のコミュニティトレード・プログラムでは、ペルーの8,000ヘクタールの森林保護に貢献しています。



ターゲット6:

すべての製品カテゴリーにおいて、
2020年までに環境フットプリントを
対前年比で削減します。

これまでのストーリー

当社には、6つの製品カテゴリー（バス&シャワー、ボディケア、フレグランス、ヘアケア、メイクアップ、スキンケア）と17の製品ファミリー（クレンザーなど）があります。私たちは、各製品カテゴリーと製品ファミリーがどのようにして作られたか、どの程度簡単に生分解されるか、または安全なレベルまで希釈されるか（それらの『ウォーターフットプリント』）に基づいて、製品カテゴリーと製品ファミリーに環境スコアを付しています。2016年は、製品ファミリーの環境フットプリントの削減に関して大きく前進しました。2017年も同様のパフォーマンスを維持しました。





ターゲット6 – 2018年の進捗状況

製品全体の環境フットプリントは2018年も引き続き改善しましたが、2017年ほどではありませんでした。製品カテゴリーの環境パフォーマンスは、65%増加しました（2017年は82%）。この数字は、環境に配慮した持続可能な成分と『グリーンケミストリー』（環境に有害な化学物質の発生を抑制する環境に優しいプロセスを含む）によって作られた成分を推進することにより実現しました。

当社の環境アセスメントの対象範囲は、2017年と比較して、個々のアイテムでは10%、製品の重量では3.8%増加しており、スターパーフォーマーと最も改善すべき点について深い洞察を与えてくれました。

また、この分野では幾つかの課題もありました。2017年後半に当社の所有権が変更された後、ウォーターフットプリントのデータを入手できなくなってしまったのが一番の難題でした。さらに、再生可能な成分や天然成分を多く使用しているけれども生分解性が低い可能性のある製品イノベーション間に、トレードオフの関係がある場合もあります。このことに対処するために、環境的、経済的及び社会的要因のバランスをとりながら、製品の持続可能性を評価するための長期的でより統合的なアプローチを開発し、実施を開始しました。

未来に向かって

私たちは、この分野での学びを実践に移し、全体的な持続可能性の観点から最も影響を与えることができる場所に焦点を当てていきます。今後のプロジェクトの指針とするために、Future-Fit（未来に即した）ビジネス・ベンチマークの目的に沿った新たな製品処方戦略を採用し始めたところです。

	2016	2017	2018
天然由来の成分	変わらず、 または16改善 (2015年のベースライン)	12改善	12改善
グリーンケミストリー由来の成分	15改善	13改善	8改善
生分解性	11改善	12改善	10改善
ウォーターフットプリント	12改善	11改善	報告なし

数字は、製品カテゴリーではなく製品ファミリーを表しています。

ターゲット7:

2020年までに、使用しているすべての天然由来成分とグリーンケミストリー由来の成分、および製品の生分解性とウォーターフットプリントを公表します。

これまでのストーリー

私たちは2016年にこのターゲットを打ち立て、より透明性を高め、お客さまが製品を購入する際に、より多くの情報を得て判断できるようにしました。この分野においては、2016年及び2017年に大きな進展がありました。2017年末までに、会社所有のウェブサイトを経営している17カ国のうち、16カ国のお客さまが、製品カテゴリー（バス&シャワー、ボディケア、フレグランス、ヘアケア、メイクアップ、スキンケア）の環境パフォーマンスを比較できるようになりました。



ターゲット7 – 2018年の進捗状況

2018年は、残りのウェブサイトで製品カテゴリーの環境フットプリントを公表しました。これはターゲットの核となる要素に対応し、世界中のお客さまに購入の決定に役立つ貴重な情報を提供しました。

19ページに記載されているように、2017年以降は製品のウォーターフットプリントのデータを計測するシステムにアクセスできなくなりました。

未来に向かって

前回のターゲットで概説した新たな処方戦略は、私たちが何を使用しているのか、なぜそれらを使用しているのか、そして、地球に優しい製品を提供するために私たちが取り組んでいることの進捗状況について、お客さまとコミュニケーションをとる絶好の機会となります。今後とも環境に配慮した商品の良さというものを、お客さまに伝えていきたいと思います。また、環境フットプリントを含め、当社製品の持続可能性について、ますます透明性を高めていくつもりです。

カテゴリーレベルの結果の公開	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ⁷
	公開	17カ国中16カ国の 会社ウェブサイト	17カ国中17カ国の 会社ウェブサイト	17カ国の 会社ウェブサイト

7. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。



ターゲット8:

先駆的な化粧品原料を生物多様性ホットスポットから調達し、それらの地域を豊かにするためのイノベーション・パイプラインを開発します。

これまでのストーリー

2016年に、私たちはシステム、プロセス及び特別なチームを立ち上げ、成分、製品並びにパッケージにおいて生物多様性を高めるイノベーションを推進しています。

生産者コミュニティの慎重な調達とサポートにより、リスクの高い生物が多様な生息地の保全と保護に役立つ可能性のある成分を多数特定しました。また、可能性を秘めたこれらの成分を、当社の厳格な品質基準、性能基準及び持続可能性基準と照らし合わせるチェックも開始しています。



ターゲット8 – 2018年の進捗状況

2018年には、596種の長いリストから41種の先駆的かつ生物多様性を高める可能性のある成分を特定しました。イノベーションチームによるテストの結果、2つの成分が特に有望視されています。これらを当社の製品に使用するかどうかを判定する前に、さらなる調査を行う必要がありますが、この分野への投資は実を結ぶのではないかと楽観視しています。このイニシアチブに関して具体的なターゲットはありませんが、これまで成し遂げた進歩について誇りに思っています。ゆくゆく、この取り組みは私たちの持続可能な調達手段全体に貢献することになるものと確信しています。

当社の厳格な生物多様性基準、持続可能性基準及び品質基準を満たす新しい成分を見つけるためには、当社独自のテストだけでなく、潜在的なサプライヤーや他のパートナーとの協働作業がかなり必要になります。これにはサステナブルソーシング・チームとの緊密な連携が欠かせません。新しい成分を確認する最終段階では、それを製品に組み込むための最も効率的な方法を見つけます。

また、バイオブリッジの取り組み(25ページ参照)を通じて、その保護に貢献している世界中の絶滅危惧種の生息地から、エキサイティングな新成分を調達したいと考えています。



未来に向かって

Natura&Coの一員であることから、私たちは持続可能なイノベーションに取り組むための絶好の機会を得ることができます。天然で持続可能な成分に対するお客さまの関心が高まっていることから、成分の調達、加工及び報告の方法を革新するための更なる動機づけとなっています。

イノベーション・パイプラインの 生物多様性ホットスポットから 調達する成分	2016	2017	2018
	19	21	41

**ENRICH
OUR
PLANET**



ターゲット9:

バイオブリッジを作り、7,500万平方メートルの生息環境を保護し、コミュニティの人々がより持続可能な暮らしができるよう手助けします。

これまでのストーリー

2016年に、ワールドランドトラストやその他の自然保護NGOと連携し、世界中のリスクの高い生息地に生息する動植物種の保護を支援しました。また、科学的研究を支援し、政府やその他の当局に働きかけて保全活動を改善しました。

これにより、世界で最も希少な類人猿であるオランウータンの新種「タパヌリ」の保護を支援しています。また、スマトラトラやアジアゾウのより良い未来を確保することや、ベトナムのアカアシドゥクラングル（霊長類の一種）の個体数を増やすことにも貢献しています。



ターゲット9 – 2018年の進捗状況

2018年もバイオブリッジキャンペーンにとって素晴らしい年となりました。2,620万平方メートルの絶滅の危機に瀕した生息地の保護を支援し、92万1,000ポンドを保護慈善団体に寄付し、グアテマラ、タンザニア、ネパール、オーストラリア、アルメニア、キルギスタン、英国に7つの新しいバイオブリッジを建設しました。また、ベトナムでの当社独自のバイオブリッジ建設作業も継続して行っています。

2018年のハイライトは、マレーシアの元プランテーション地を長期的な保護のために確保したことや、インドネシアのバイオブリッジにおいて世界で最も希少なオランウータンの双子の誕生を祝ったことなどです。推定15頭しか残っていないコーカサスヒョウの1頭が当社のアルメニアのバイオブリッジで発見され、世界で最も絶滅の危機に瀕している種の保護に私たちが貢献していることの裏付けとなりました。これらの功績が認められ、バイオブリッジキャンペーンは、英国のMarie Claire Prix D'Excellence De la Beauté Sustainability Awardを受賞しました。

未来に向かって

バイオブリッジキャンペーンは、エクアドル、インド及びルワンダにおいて、それぞれワールドランドトラストとWCSルワンダの協力のもとに新たなプロジェクトを実施し、2019年に終了します。また、ベトナムにおいて当社独自のプロジェクトに対する最終的な誓約も行います。私たちは、8,000万平方メートル以上の生息地を保護し、2019年半ばまでに世界中の生物多様性を支援するために200万ポンド超の資金を調達する予定ですが、既に2020年のターゲットを上回る勢いを見せています。今後の戦略ですが、個別の慈善活動ではなく、日々のビジネス活動を通じて生物多様性の保護を優先していきたいと考えています。

保護された面積 (平方メートル)	2016	2017 (累計)	2018 (累計)	比例配分された ターゲット 2018 ⁸ (累計)	ターゲット2020 (累計)
	17,262,514	41,388,114	67,551,638	56,250,000	75,000,000

8. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

バイオブリッジとは

バイオブリッジとは、ダメージを受けたり脅威にさらされたりしている景観において、野生生物が行き交うことができるように復元または保護された道（橋）のことです。バイオブリッジによって絶滅危惧種が再びつながって生き延びられるようになるのと同時に、地域コミュニティの人々もより持続可能な暮らし方ができるようになります。また、気候変動の原因となる二酸化炭素を抑えることも可能です。

バイオブリッジキャンペーンは、バイオブリッジの建設において自然保護団体への資金提供と支援により、世界中の生物多様性を豊かにする当社の慈善プログラムです。2016年から2018年にかけて、私たちは11のサイトでバイオブリッジを建設し、6,760万平方メートルの生息地の保護に貢献し、世界中の生物多様性イニシアチブを支援するために160万ポンドを集めました。アフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、ラテンアメリカの現地パートナーと協力しました。



ターゲット10:

店舗を改装したり新しいデザインにするたびに、店舗の環境フットプリントを削減します。

これまでのストーリー

当社は世界中に約3,000の店舗を展開しているため、ショップフィット材料の環境フットプリントを削減することで大きなプラスの影響を与えます。2016年、エネルギー効率の高いパルス(Pulse)店舗デザインに代わる店舗コンセプトであるビート(Beat)を開発し、試験的に導入しました。2017年には、手始めに数店のビート店舗を改装しました。



ターゲット10 – 2018年の進捗状況

2018年は、このターゲットに対して進捗している状況です。ビートコンセプトを採用して、ヨーロッパ、中東及びアフリカで26店舗、アジア太平洋地域で8店舗、計34店舗を改装しました。

私たちは店舗のデザインを評価し、ショップフィットの環境フットプリントを削減しています。世界的な持続可能性評価手法のBREEAMの一部であるBRE (Building Research Establishment 英国建築研究所) とともに開発した客観的な基準を用いて、家具や照明、ディスプレイなど、改装に使用されるすべての材料にスコアをつけています。このスコアは、製造、寿命、再利用性、リサイクル性、包装、輸送、メンテナンスを対象としています。また、BREと連携して、サプライヤーがライフサイクル全体に基づいて、ショップフィット材料やビジュアルマーチャンダイジング材料の持続可能性を評価する際に役立つガイドを作成しました。

当社のデザインは、使用する材料を最小限に抑え、ラミネートの代わりに持続可能な木製のベニヤや金属を使用するなど、再利用性とリサイクル性を最大化するものです。リサイクル含有率が高く、軽量で寿命が長い材料を使用しています。また、他の店舗において古い什器を再利用する機会についても調査しています。



未来に向かって

私たちは今後もサステナブル・マテリアル・スコアカードを使用して、この分野での改善と革新を続けていきます。2019年は、素材や照明にとどまらず、より幅広いサステナビリティの定義に基づいた新たな店舗コンセプトに取り組みます。また、環境性能を向上させるために、什器の新しい設置方法の試行も予定しています。

	2016	2017	2018
環境フットプリントを改善した 店舗の再デザイン／改装	改装・再デザインなし	4	34

ターゲット11:

2020年までに持続可能な包装材の新技术を3つ開発し、実用化します。

これまでのストーリー

私たちは、生産時から、使用、廃棄に至るまで、私たちの製品が環境を破壊することのないように全力で取り組んでいます。2016年及び2017年に、重要な研究とテストを実施しましたが、持続可能な新しい包装材についての有望なアイデアの中で当社の厳格な基準を満たしたものはありませんでした。パフォーマンスを向上させるために、私たちは新たに包装材チームを作りました。

2018年の進捗状況

持続可能なビジネスへの当社のコミットメントは、環境的及び社会的影響を対象としています。2018年、持続可能な包装材イノベーションへの投資は、この両分野で実際に成果が出始めました。

2018年の主な包装材イノベーションとして、倫理的に調達されたコミュニティトレードのリサイクルプラスチックを当社の製品包装材に使用することを承認することなどがあり、インドの限界集落のゴミ拾い労働者が回収した既存の包装材を使用します(30ページを参照)。これにより、以前は非公式にゴミ拾いをしていた何千人もの人々の労働条件と収入が改善されると同時に、水路や土地のプラスチック汚染が軽減されることになります。

この新しい包装材を用いた最初の製品は2019年5月に発売予定であり、その年の終わりまでに約300万本のボトルに使用される見込みです。

包装材のイノベーションに加えて、ギフト商品の包装材全体を2017年と比較して32%も大幅に削減しました。これによって、224トンの板紙、26トンのプラスチック、86トンの金属の使用量を削減したことになります。



ターゲット11 – 未来に向かって

2019年、今後のプロジェクトの指針となるように、Future-Fit(未来に即した)ビジネス・ベンチマークの目標に沿った野心的かつ長期的な包装材戦略を立ち上げます。

私たちの計画には、コミュニティトレードのリサイクルプラスチックの使用量を2019年の250トンから3年以内に900トン以上に増やすことが含まれています。

持続可能な包装材イノベーション	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ⁹ (累計)	ターゲット2020
	0	0	1	1	3

9. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。

包装材イノベーション

新しい包装材戦略により、当社は循環型経済ビジネス(資源を最大限に活用し、廃棄物を最小限に抑えるビジネス)に取り組んでいきます。当社の包装材が人や環境に害を及ぼさず、再利用できるようにするために、私たちは2030年に向けて大胆な目標を設定しました。

これには、製品の包装方法を変更し、包装材に付加価値をつけて再利用を促進し、使用する材料の数を減らすためのイノベーションとコラボレーションが含まれます。2019年以降は、一部の市場において、リサイクルを専門とするテラサイクル(TerraCycle)社と提携して、廃棄物の出ない「Loop(ループ)」というショッピングプラットフォームを作る予定です。ループは、一般的な包装材に代わって、手頃な価格で環境的に持続可能な代替物を消費者に提供します。

そのサブスクリプションサービスを通じて、消費者の包装材を回収し、詰め替えて、再利用することができます。私たちは、この新しい包装材モデルのパイロットに参加するよう招待されたことを嬉しく思っています。このスキームをティーツリーオイルでテストしてみたいと考えているところであり、今後も使用範囲を広げていくかもしれません。



プラスチックリサイクルのイノベーション

責任を持って使用すれば、プラスチックは持続可能なものになると私たちは信じています。2018年はPlastics For Changeと提携し、インドのベンガルルールでコミュニティトレードのリサイクルプラスチックの調達計画を開始しました。インドでは毎日、150万人のゴミ拾い労働者が6,000トンのプラスチックを分別しています。こうしたゴミ拾い労働者は、権利が限られていることが多く、差別をされたり極度の貧困に陥りやすい状況にあります。2019年5月からは、ゴミ拾い労働者が拾ったプラスチックをヨーロッパから出たリサイクルプラスチックと一緒に、250mlのヘアケアボトルに使用することになりました。

私たちの継続的な目標は、時間をかけてコミュニティトレードのリサイクルプラスチックの使用量を徐々に増やしていくことです。つまり、2022年末までに、約2,500人のゴミ拾い労働者が適正な価格で予測可能な収入を得て、より良好な労働条件を利用できるようになるということです。これと並行して、私たちは地元のパートナーと協力して、ゴミ拾い労働者がヘルスケアやその他の必要不可欠なサービスを利用できるように支援していきます。

また2018年には、お客さまが店内で空の包装材をリサイクルできるシステムも構築しました。これは2019年に5カ国で開始され、将来的にはさらに多くの国々での導入が計画されています。可能な限り、TerraCycle®は包装材を現地でリサイクルします。それが不可能な場合、包装材は家具などの製品に使用されます。

「これは、リサイクルに使用するために検証されたフェアトレードのプラスチック回収の世界初のプログラムです」

Plastics for ChangeのCEO
アンドリュー・アルマック

ターゲット12:

2020年までに製品包装材総量の70%に化石燃料が含まれないようにします。

これまでのストーリー

化石燃料の使用が気候変動の一因になることは周知の事実なので、私たちは可能な限り化石燃料を使用しないようにしています。ほとんどのプラスチックの製造には石油を使用する必要があるため、このことは化粧品包装材の課題となっています。私たちは2016年にいくつかの初期改良を行いました、2017年には進捗が鈍化してしまいました。当社の製品包装材の半分以上は石油／鉱油、石炭または天然ガスを使用して製造されたものではありませんでしたが、私たちはそれ以上の達成を望んでいました。しかし、私たちはリサイクルプラスチックやその他の材料の使用量を増やし、環境負荷の低減に努めてきました。

ターゲット12 – 2018年の進捗状況

2018年末までは、当社の包装材の56%は化石燃料に直接由来するものではありませんでした。これは2017年より若干改善したことを示していますが、今年の目標を下回っています。

私たちは、液体やクリームなどに対してプラスチック包装材が必要な場合、リサイクルプラスチックを使用するのが最適の方法であることに気がつきました。これらはもともとは石油を使用して作られていましたが、リサイクルプラスチックを再利用することにより、さらに化石燃料を使用する必要性を制限することができます。主な課題は、私たちが必要とする高品質のリサイクルプラスチックを大量に調達することでした。

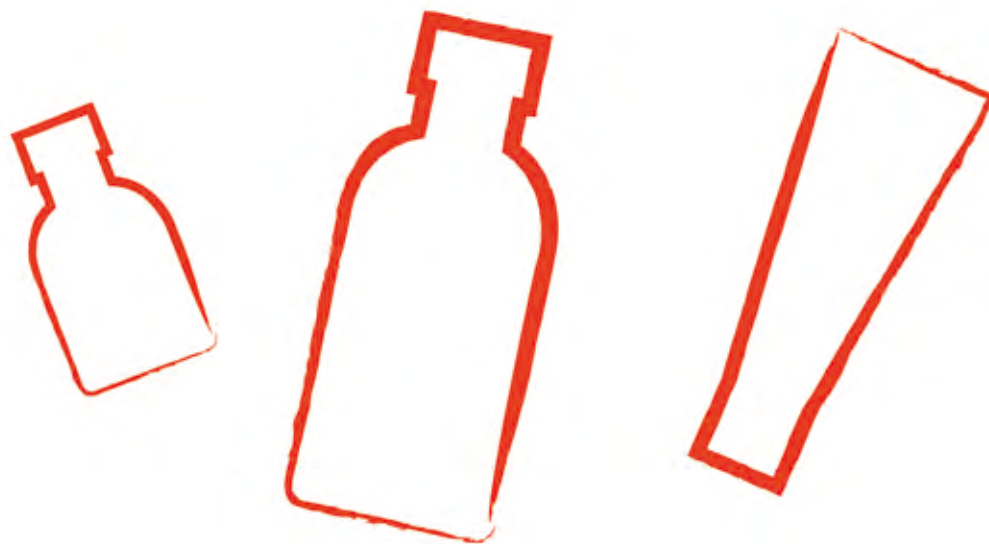
新しいボトルデザインや色合わせによって遅れを生じましたが、2018年によりよくこの問題を解決しました。2019年5月には、インドから来たコミュニティトレードのリサイクルプラスチックを使用した初の製品が店頭で発売されました(30ページ参照)。

未来に向かって

2019年には、Future-Fit(未来に即した)ビジネス・ベンチマークの目標に沿った野心的な包装材戦略を立ち上げます。これにより、使用済み包装材の店頭回収を増やすなど、包装材の持続可能性を向上させるための複数のアプローチを取ることが可能になります。また、今後も使用済みのプラスチックの使用量を増やし、使用する包装材を可能な限り減らしていきたいと思っています。

化石燃料を使用していない 製品包装材の割合	2016	2017	2018	比例配分された ターゲット 2018 ¹⁰ (累計)	ターゲット2020
	58%	55%	56%	67%	70%

10. 比例配分されたターゲット2018は、2020年の目標を達成するために2018年末時点で達成が期待される進捗状況を示しています。



ターゲット13:

店舗の100%が再生可能エネルギーまたはカーボンバランス・エネルギーで運営されるようにします。

これまでのストーリー

炭素排出が気候変動の原因になることはよく知られています。炭素排出量を削減するには、当社の店舗に(太陽、風、バイオマスや地熱をエネルギー源とする)再生可能エネルギーを調達することが不可欠です。2016年はこの点では順調に進捗しましたが、その後、パフォーマンスは横ばいになりました。



ターゲット13 – 2018年の進捗状況

私たちは2018年のグリーンエネルギーターゲットを達成できませんでした。世界中の店舗の16%のみが再生可能エネルギーまたはカーボンバランス・エネルギーを使用しています。

再生可能エネルギーの利用可能性については、多くの国や地域で依然として課題となっています。私たちは可能な限り再生可能エネルギーを使用したいと考えていますが、カーボンバランスという考え方は優れたバックアップオプションです(ボックスを参照)。

当社のパフォーマンスが期待値に達しておらず、また、責任ある企業としての責任も果たせていないことを考えると、私たちは14万3,856トンのカーボンバランスの二酸化炭素をもっていることになり、これは当社および世界中のフランチャイズ所有店舗で報告されている非再生可能エネルギーの消費量に相当します*。

当社の非店舗施設については、進捗はよりポジティブなものになっています。

英国のリトルハンプトンにある当社のグローバルオフィスは、カーボンネガティブです。オンサイト・ソーラーパネルでサイトのエネルギーの25%を生成し、一部のエネルギーをグリッドに販売しています。そこで使用されるその他のエネルギーはすべて100%再生可能です。英国のイースト・クロイドンにある当社のグローバル本社では、100%再生可能エネルギーを使用しています。

未来に向かって

私たちは、引き続き再生可能エネルギーの使用に取り組んでいきます。2019年と2020年には、再生可能エネルギーを使用していない店舗向けに、カーボンバランス・プログラムの使用を拡大していきます。2021年からスタートする新戦略では、カーボンフットプリントに関する取り組みを優先的にを行います。

再生可能エネルギーを利用している 店舗の割合	2016	2017	2018	ターゲット2018	ターゲット2020
	23%	23%	16%	50%	100%

* トン数は、ベトナムでのカーボンバランスに使用されるWLTのカーボンバランスレート4.50ポンド/トンに基づいています。



カーボンバランスとは

当社のカーボンバランス・プログラムは、当社のバイオブリッジの主要なパートナーでもある国際的な自然保護団体、ワールドランドトラストによって管理されています。このスキームは、「気候変動対策におけるコミュニティおよび生物多様性への配慮に関する企業・NGO連合」(Climate Community and Biodiversity Alliance)の基準を満たすプロジェクトを通じて、絶滅の危機に瀕している森林を保護することにより、炭素排出を防止または吸収するものです。

当社のカーボンバランス・スキームは、他のカーボンニュートラルなプログラムとは異なり、大規模な管理ではなく、現場での行動に焦点を当てています。このスキームは、エネルギー使用量の測定、エネルギー使用量の削減、その後には不可避の炭素排出量の補填という3段階のサイクルに従います。

2018年には、危機に瀕しているベトナムのケ・ヌオクトロンの森林を保護することにより、店舗内の非再生可能エネルギーの使用量に相当するカーボンバランス排出量を実現しました。

ターゲット14:

すべての店舗のエネルギー使用量を2020年までに10%削減します。

これまでのストーリー

可能な限り再生可能エネルギーの使用に努めることに加えて、全体的なエネルギー使用量を削減することも重要です。2016年に有望な成果を上げた後、一部の国では好成績をおさめたものの、2017年には店舗での全体的なエネルギー削減量は少なくなりました。2016年以降に改装したすべての店舗で低エネルギーのLED照明を使用していることを誇りに思っていますが、それ以上のことを行う必要があるのは承知しています。私たちは、この点について上級管理者と店舗スタッフを支援し、やる気を引き出すためのトレーニングツールを作成しました。

ターゲット14 – 2018年の進捗状況

良いニュースは、2017年に比べて、2018年にはエネルギー使用量を大幅に削減（9%）し、ターゲットに近づいたことです。今後の主な優先事項は、どこで、どのようにして効果的にエネルギーを節約しているのか、どこで努力を一層強化する必要があるのかについて、より良い情報を収集するためのデータ収集&処理システムを改善することです。

ターゲット13で説明したように、私たちは店舗で使用される非再生可能なエネルギーに対抗するためにカーボンバランス・プログラムを使用していますが、今後もこれを継続していきます。

当社の非店舗施設内でのエネルギー削減は進歩を示しています。倉庫での2018年の平均電力消費量は、2017年よりも68%減少しました。同期間に、オフィスでの平均電力使用量は28%減少しました。

未来に向かって

グローバルビジネス全体で、可能な限りエネルギー使用量の削減を継続し、2021年に次の戦略を開始する前に、この分野でさらに前進することを決定しています。これには、店舗でのエネルギー使用も含まれますが、製造や梱包からすべての施設に至るまで、私たちが行うすべてのことが含まれます。

店舗でのエネルギー削減	2016	2017	2018	ターゲット2018	ターゲット2020
	-5.69%	-2.96%	-9%	-10%	-10%

香港でエネルギーを節約するために用いているテクニック

2016年から香港のハイストリート店舗のライトボックスは、終日点灯しているのではなく、夕方だけ自動的に点灯するようになりました。スタッフは閉店時に不要な照明とエアコンのスイッチを切り、退店前にすべての照明と電子機器の電源を切るようにしています。オフィスのスタッフは、昼食時にはノートパソコンやパソコン、モニターの電源を切るように忠告されています。

香港の同僚は毎年アースアワーに参加し、特定の日の午後8時30分から午後9時30分まで、不必要な照明を消して省エネ意識を高めています。スタッフに対して省エネ対策に関する教育を続けており、省エネトップ10の店舗を称賛するようにしています。



未来に向かって

ザ・ボディショップは変化を生み出すことを目指しているビジネスです。

歴史的に見て、私たちは行動を起こし、驚くべきことを成し遂げてきました。

私たちは重要な問題に関して運動を起こし、お客さまにこれまでとは異なる視点で考えてもらえるように促してきました。

私たちは法律を変え、新境地を開拓し、時には本業とは無関係の分野にも挑戦してきました。

しかし、世界は変化し、私たちが直面している課題は、私たちが最初にスタートしたときとは異なるものになっています。Enrich Not Exploit™コミットメントの下で達成された進歩は、私たちが本当に誇りに思うものです。しかし、私たちにはそれ以上のことができます。新しい持続可能性計画の策定にリソースを集中させることにより、当社のビジネスの全領域をカバーし、私たちが運営するシステムに影響を与えるような、より包括的な変化を推進していくつもりです。

今後も、ザ・ボディショップは3つの事柄、すなわち、新たな野心的目標、新たな法的地位、そして変化を推進するという新たな哲学にコミットしていきます。

私たちの新しい目標は、人々のために、社会のために、自然界及び地球のために、ザ・ボディショップが再生可能なビジネスになることです。このために必要となる重要な参照ポイントは、すべて害となるものを排除し、さらにもっと進んで、プラスの影響を確実にするための指針であるFuture-Fit(未来に即した)ビジネス・ベンチマークです。私たちは、2021年の初めに私たちの野心を発表することを楽しみにしています。

私たちの新たな法的地位は、私たちが長い間賞賛してきたB Corp運動のアプローチを信奉するものであり、最近、英国での定款を変更したことを意味します。

現在、ザ・ボディショップ・インターナショナル・リミテッドは、トリプルボトムラインの強力なパフォーマンスを提供する責任を負っていますが、これは、ビジネスとしての成功は、利益だけでなく、持続可能性や社会的影響力のある仕事も考慮されるということを意味しています。

さらに、長年の悲願であったB Corpになりたいという野心を実現し、近い将来に認定されるためのチャレンジングな敷居まで到達したいと考えています。

最後に、私たちは変化の動きへ再び一步を踏み出しています。

私たちは努力しており、新しいことに挑戦したいと考えていますし、また変化に影響を与えることができることを知っています。ジョン・エルキントンのVolansチームと一緒にトリプルボトムラインの再発明を探求する「Tomorrow's Capitalism」の研究を支援していることは、この作業を前進させるためがすでに行っていることの良い一例です。

完璧なビジネスというものはないけれども、野心の規模には大きな力があることを認識しつつ、お客さまやステークホルダーの皆様と旅路を共有していきます。また、ポジティブな変化を生み出すために自分たちが果たすべき役割を認識し、受け入れている企業は他にもあると思います。自社の事業や業界内だけでなく、システム全体に変化をもたらす企業になるための旅を始める際に、こうした組織は強力な味方になってくれる可能性があります。

持続可能性への取り組みにおいて、こうした段階的な変化にワクワクしています。

ぜひ、皆さんも私たちと一緒に旅をしましょう。



クリストファー・デビス (Christopher Davis)
サステナビリティ担当国際部長



	ENRICH NOT EXPLOIT™ ターゲット	詳細
1	コミュニティトレード・プログラムを27から40サプライヤーまで拡大し、 サプライヤーのコミュニティがより豊かになるよう支援します。	ザ・ボディショップのサステナブルソーシング憲章に定められた社会基準 および環境基準を満たし、かつ、2018年1月から2020年12月までの間に、 発注書の発行が増えた、新規コミュニティトレード・サプライヤーの数。
2	世界中で4万人の経済的に弱い立場の人々が、雇用の機会および/ または私たちのサプライチェーンに関連する持続可能性プロジェクトを通じて、 利益を享受できるようにします。	雇用や私たちのサプライチェーン活動に関連する持続可能性プロジェクト によって利益を享受できた人々の数、およびより幅広い観点からコミュニ ティメンバーの数。コミュニティトレード・サプライヤーをはじめ、 他の調達プログラムに関わる人々も含める予定です。
3	800万人を私たちのEnrich Not Exploit™の活動に巻き込み、 ザ・ボディショップ史上最大のキャンペーンを行います。	ザ・ボディショップのForever Against Animal Testingキャンペーン 嘆願書の署名数
4	地域コミュニティの生物多様性をより豊かにするために、 私たちの25万時間分のスキルとノウハウを投資します。	ザ・ボディショップのスタッフおよびザ・ボディショップのフランチャイズで 働くスタッフが、有給労働時間内にボランティア活動に従事した時間数
5	天然成分の100%を確実にトレーサブルかつ[...]	原材料について、少なくとも原産国までトレース可能な天然成分の数 および割合。
	[...]持続可能な方法で調達することにより	ザ・ボディショップが定義する『持続可能な方法による調達』という条件を 満たした天然成分の数および割合
	[...]1万ヘクタールの森林などの生息環境を保護します。	特定の地域において、ザ・ボディショップが天然成分を調達した結果、 保護された生息環境の面積(ヘクタール)
6	すべての製品カテゴリーにおいて、 環境フットプリントを対前年比で削減します。	2015年より、毎年対前年比で測定されてきた、 カテゴリーの生分解性平均値(%)、天然由来成分の%、 グリーンケミストリー由来原料の(調合の)数および%。
7	使用しているすべての天然由来成分とグリーンケミストリー由来の成分、 および製品の生分解性を公表します。	私たちが使用する天然由来成分(%)、グリーンケミストリー由来の 成分(%)、また、製品の生分解性(%)をカテゴリー、製品ファミリー、 記事レベルで公表した会社のウェブサイトの数および割合(%)

	ENRICH NOT EXPLOIT™ ターゲット	詳細
8	先駆的な化粧品原料を生物多様性ホットスポットから調達し、それらの地域を豊かにするためのイノベーション・パイプラインを開発します。	原材料について、生物多様性ホットスポットまでトレース可能な成分の数；生物多様性の保護を支援する；現時点でザ・ボディショップが使用していない；化粧品業界であまり知られていない；化粧品にとって有益であることが証明されている。
9	バイオブリッジを作ることにより、 7,500万平方メートルの生息環境を保護・再生し[...]	対象地域で保護・再生された生息地の平方メートル数
	[...]コミュニティの人々がより持続可能な暮らし方ができるように手助けします。	2017年開始の活動については、該当なし。
10	店舗を改装したり新しいデザインにするたびに、 店舗の環境フットプリントを削減します。	1. 改装または新しいデザインを採用した店舗における、LIST（英国建築研究所（BRE）のリソースである、低影響持続可能性ツール）スコアの減少 2. グローバルレベルでの店舗ごとの年間の平均エネルギー使用量の削減(kWh) ターゲット全体の測定については、2進法を用い、より詳細な情報がない場合は、詳細な重み付けのために、両方の係数の重みを等しくして行います。このことは、私たちの環境フットプリントが削減されたことを主張するには、両方の指標において削減が確認されなければならないことを意味しています。このターゲットの評価はグローバルレベルでのみ実施します。
11	持続可能な包装材の新技术を3つ開発し、実用化します	以下のような包装が施された製品の数 1. （化粧品業界において）新技术を利用している、新しい状況下で既存の技術を利用している、またはこれまで化粧品業界で商品化されていなかった包装材を調達している。 2. 少なくとも、ゆりかごからゆりかごへTM認証の基本レベルの閾値を満たしている。
12	製品包装材の70%に化石燃料が含まれないようにします。	製品包装材において、純粋な化石燃料に由来する原料を除いた重量 - 再生[PCR]化石燃料を使用した場合は、化石燃料に由来しない包装材として分類します。
13	店舗の100%が再生可能エネルギーまたはカーボンバランス・エネルギーで運営されるようにします。	1. 再生可能エネルギーで運営されている店舗の割合 2. カーボンバランスが保たれている店舗の数および割合
14	すべての店舗のエネルギー使用量を10%削減します。	ザ・ボディショップの全店舗の総エネルギー使用料(kWh)